

秋田経済倶楽部・渋沢栄一記念財団竜門社秋田支部 令和6年度会員総会開催



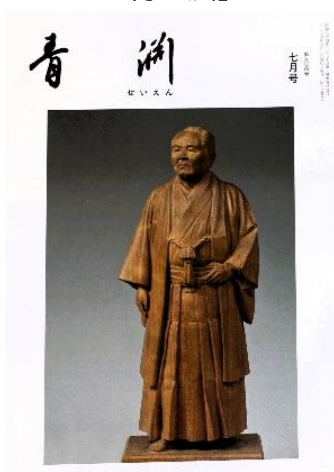
7月25日（木）秋田市のパーティーギャラリーイヤタカにおいて、「秋田経済倶楽部」及び「渋沢栄一記念財団竜門社秋田支部」の令和6年度会員総会が開催された。

秋田経済倶楽部は、秋田市の経済人の会として昭和27年に創設され、東洋経済新報社の外郭団体（一社）経済倶楽部（昭和6年設立。初代理事長 石橋湛山）と同じく、金融等内外経済についての調査・研究を行い、会員相互の研鑽・親睦を図ることを目的とした組織である。秋田県内には当経済倶楽部のほかに能代と大館に同様の経済倶楽部がある。会員には東洋経済新聞社が発行している「経済倶楽部講演録」が毎月配布される。

渋沢栄一記念財団竜門社秋田支部は、渋沢栄一の経済理念に基づいた教を伝える事業を支援する組織「竜門社」の秋田支部。「竜門社」は当時渋沢邸に寄宿していた新しい世の中を創るための勉強会の名称で、財団としての発足は大正13年、秋田支部の発足は昭和28年10月である。会員には同財団が発行している「青淵」が毎月配布される。

会員総会では、「令和5年度事業報告、収支報告」、「令和6年度事業計画（案）、収支予算（案）」等の審議を行い、議案が全て承認された。また秋田経済倶楽部・竜門社秋田支部のトップに(株)秋田銀行取締役会長の新谷明弘氏を選出された。

「青淵」



「経済倶楽部講演録」

